

●春日部市民文化講座（第8回）

◆日 時：2013年11月27日(水) 10時（ぼぼら春日部4階会議室）～11時

◆テ ー マ：講演「日本料理の話し」

講師：持木 昭夫さん（料理人、懐食「山ノ月」ご主人）

◆ゲスト紹介：1945年、埼玉県春日部市粕壁生まれ。中学卒業後に、ヤマヤ入社。60歳で退職し、還暦で「懐食山ノ月」を立ち上げ、現在に至る。26歳～60歳まで、早朝ソフトボール(上町ソフトクラブ)の監督を務める。趣味は、盆栽、山野草など。

■ “山ノ月” までの60年の歩み

60歳の還暦の時に“山ノ月”を立ち上げまして、10年を迎えることができました。この10年を振り返ってみますと、あっという間でしたが、ものすごく充実していたように思えます。私がこの商売に入ったきっかけと申しますのは、中学時代に遡ります。

【中学時代の思い出】 私たちの中学時代は給食制度はなく、毎日お弁当を持って学校に通ってました。私の家は食堂をやっており、学校に近いこともありましたので、良く昼になると家に帰り、お昼を食べる前に配達を2～3軒して帰ってから、出来ている物を集めてご飯を盛ってそれを食べて学校に行くということを繰り返していました。そんなある日、担任の先生が卒業名簿を作っている時に、「おい持木、お前は“ヤマヤ”だな」というひとことで、卒業後は“ヤマヤ”一筋45年の人生になりました。

【修業時代・配達と映画の思い出】 そして中学を卒業して“ヤマヤ”に就職したのですが、就職をしたと言うよりも家事手伝いで仕事をしていたような気がします。最初は仕事始めて“出前”の仕事から始めました。配達は「カブ男」というバイクでした。右手で岡持を持つために左側をスロットルに改造して乗っていました。白衣の下にオシャレしたり、寒い日に知恵を絞ったりといろいろな思い出があります。また、修業時代の“ヤマヤ”の休みは月に2回しかありませんでした。その2回を利用して私は良く洋画を見て男を磨いていました。

【修業時代・三味線を習って】 修業時代にあって、景気の善い悪いは5～6年の波で来ました。景気が良くなる度に、休みが2回から3回に、3回から4回になったのです。そうして休みが多くなった頃に、我が家に母親が習っていた三味線がありまして、私がいたずらしていたらお袋が「どうだい、お前も三味線習わないか」ということで、私も母のお師匠さんの処に通うことになりました。三味線を習い始めて“太鼓持ち”の仕事を知り、練習しましたが片手間のできる仕事ではなく断念しました。当時練習していた「さのさ」を一つ…。♪なんだ なんだ なんだ ネー …♪



■ エキサイティングな球技を続けて

26歳の時でした。「早朝ソフトボール」という組織に入り、30歳で監督になり、60歳まで監督をやっていました。1年で21試合戦うので、35年間で721試合を戦いました。その間、休んだのが1試合でした。外ではエキサイティングなソフトボールの動、家に帰ると山野草や盆栽とかが200鉢くらいあり、店の所々に飾っている鉢の手入れの静を楽しんでいます。そういう遊び、趣味、仕事で60年を過ごしてまいりました。



■ “山ノ月” を建てて

最後に仕事の話をして3つほどしたいと思います。

- 1. 家具は手造りで：**今の“山ノ月”を新築している時、建てている間は毎日楽しみで現場を見に行っていました。途中からテーブルを備え付けたりする段になりました。家具屋を見て回ったのですが、なかなか気に入らず、友人の植木屋に相談して2mの丸太を7本切ってもらい、厚さ6cmで製材してもらいました。それが届けられた時には驚きました。トラック1台に山積みです。手始めに座卓から作り始めました。カウンターの上の銀杏の木など総ての材木が使えました。
- 2. オープンカウンターで：**これまでは調理場で仕事をしていましたが、今度はオープンカウンターでお客様の前で調理をするので、緊張して手が震えてしまうのです。美しい女性を前にしてコース料理をお出しして、最後にお茶点前をして「頂戴します」の声で、緊張のためにグズグズと崩れてしまったことがありました。
- 3. 還暦記念の料理教室で：**近くの公民館で還暦記念に料理教室を開いてみないかと館長から誘われ鯛料理の教室を開いたのですね。ところが、料理教室の前日に熱を出してしまい寝てしまいました。幸いにして教室当日は無事にできたのですが…。

持木さんのお人柄を伺うことができ、とても面白いお話の数々でした。